

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学校名	管理機関名	設置者の別
瑞穂市立南小学校	瑞穂市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
瑞穂市立南小学校	http://edu-mizuho.com/minami-es/20220415_3067/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
瑞穂市立南小学校	http://edu-mizuho.com/minami-es/20230602_3699/	http://edu-mizuho.com/minami-es/20230602_3699/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
 一部、計画通り実施できていない
 ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
 実施していない

<特記事項>

保護者及び地域住民を対象に公表会を実施したり、授業参観や家族参観を実施したりすることで、特別の教育課程を身近に感じることができる場を設定している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

瑞穂市の現状においても外国人児童生徒が毎年増加傾向となっており、本校でも増えつつある。このような中で、文化や言語の違いを乗り越えて、どの児童も、グローバルな視野をもち、楽しく学校生活を送る中で互いを尊重し合うことが今後さらに求められるようになる。そのため、コミュニケーションのツールとなる英語を低学年の早い段階から導入している。発達段階を考え、特に音声指導を重視し、英語表現に十分に慣れ親しんでいくことに重点をおくことで楽しくコミュニケーションをとることができている。また、一方で中学校へのスムーズな接続という点においては、今後の課題であると感じている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

身近に外国文化に触れる機会が増える中、本校においても外国人児童が増えてきている。また、本特例では3～6年生が外国語科、1、2年生が外国語活動を実施している。早い段階で外国語に触れることで、外国語活動に慣れ親しむことができている。ただ、義務教育9年間を通して、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質をどのように身に付けさせていくかが課題である。

4. 課題の改善のための取組の方向性

本特例の外国語活動・外国語科は、担任主導で行っていくのが基本であるため、不慣れな教員もおり、授業準備に苦労がある。そのため、ALTとの連携を密にし、具体的指導方法を共通理解していくことで、改善を図り、中学校へのスムーズな接続ができるようにしていく。